

優秀賞

ウチに来る野鳥で図鑑を作ろう！

青山 隼人（会社員：愛知県）

■概要

- ・家に設置している防犯カメラに映った野鳥を AI で識別。種類や個体を認識する。
- ・これらを専用アプリ内でカード収集のように図鑑化することで、自宅付近に生息する野鳥を身近に感じることができる。子供達は野鳥に興味湧き、自然に対する愛情を持てるようになる。

■背景・課題

- ・近年の温暖化など自然環境の悪化により、絶滅の恐れがあるレッドリストに指定されている動物は 3 万種類以上と言われており、鳥類はその内 14% を占めている
 - ・普段、散歩などで多くの野鳥を目にする。カラス、スズメ、鳩、ツバメなどは多く目にするが、それ以外にも名前を知らないきれいな色をした鳥や、面白い鳴き声をする鳥などがある。
- ただ、これらの野鳥の名前を調べようにも、すぐに飛び立ってしまい、特徴が覚えきれない。
(スマホで撮影しようとしてもその前に逃げられてしまう)

■解決するゲーム案

- ・家に設置している防犯カメラで野鳥を捉えた際、これを AI により自動認識させる
 - ・認識した野鳥を、専用スマホアプリでカードとして自分の図鑑に追加する。
 - ・個体認識を行い、同じ野鳥が複数回来てくると、カードのレベルが上がる。
 - ・野鳥の種類によってはレア度を設定。滅多にみられないウグイスやメジロ、もしくは絶滅危惧種の鳥など「レア度が高い」鳥が来た際は、特別なカードがもらえる。
 - ・アプリ内で集めた鳥達は、その生息域や特徴などを調べることができる。
- また、アプリ内のバーチャルな庭で飼育することができる（名前を付けることも可能）
- ・ゲームを通じて得られた野鳥データは、位置情報と共に送られて、野鳥分布マップとして公開される

■期待される効果

- ・家の周りにいる野鳥に愛着が湧くことで、自然への興味を持てるようになる
- ・いきなり自然環境を大きく改善はできないかもしれないが、温暖化対策などの課題に対して、1 つ 1 つの行動を変えるきっかけになる